

## 会議録

会議の名称	平成29年度第4回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成30年3月8日（木）午後1時30分から午後3時10分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	池田正幸委員、大河内一紀委員、川口幸子委員、菊地原美和委員、小林正和委員、中村桂子委員、則武智委員、水谷俊博委員、安田賢憲委員、山本泰嗣委員、米森修一委員、和田清美会長（50音順） 事務局：古厩企画部参与兼企画政策課長、柳沢企画部主幹、佐野企画政策課課長補佐、神保企画政策課主査、高橋企画政策課主任、水谷企画政策課主事
議題	1. 第2次総合計画（後期基本計画）の施策体系について 2. 第2次総合計画と総合戦略の整理案の検討について 3. 第2次総合計画（後期基本計画）の各論について 4. その他
会議資料の名称	(1) 第2次総合計画（後期基本計画）の施策体系（案）について (2) 第2次総合計画（後期基本計画）各論における施策見直しの方向性検討資料（粗案） (3) 第2次総合計画（後期基本計画）各論【原案】 ～創・環・安～ 〈以下参考資料〉 西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる基本目標の進捗状況
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u> <u>開会の挨拶</u> ○事務局： 本日の議事進行でございますが、長島委員が、人事異動に伴い、総合計画策定審議会委員を辞退されましたので、後任の川口幸子様へ、西東京市長から委嘱状の交付をさせていただきます。 委嘱状の交付にあたり、西東京市長よりご挨拶申し上げます。</p> <p><u>市長挨拶</u> <u>委嘱状の交付</u> <u>川口委員挨拶</u></p> <p><u>議題1 第2次総合計画（後期基本計画）の施策体系（案）について</u> <u>議題2 第2次総合計画と総合戦略の整理案の検討について</u> ○事務局： 本日の議題1の後期基本計画の施策体系のうち、総合戦略部分の具体的な内容が議題2「第2次総合計画と総合戦略の整理案の検討について」となるので、合わせてご説明</p>	

させていただきます。

事務局より資料1及び参考資料に沿って説明

○和田会長：

ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。

○F委員：

成果指標については、市民意識調査における市民満足度のように主観的なものではなく、客観的に評価できるものが現時点の例として挙げられており、指標設定の考え方としてはよいと考えます。今後、成果指標について議論する際には、目標を達成していると考えてよいか判断をするために、具体的な目標値についての妥当性を示していただく必要があると思います。

○事務局：

現時点では、現状値から一律何パーセント増加という考え方で目標値を設定しております。

○F委員：

そのような設定方法ですと、事業の進捗度を測る考え方になるのではないかと思います。事業目標に対する成果は、進捗度とは別に設定するというのでしょうか。

○事務局：

成果指標については、ご指摘を踏まえ、具体的な検討に入るまでに考え方等を整理いたします。

○C委員：

分野の名称は、今回の見直しの対象外とのことですが、「安一1 快適で魅力的な都市空間で暮らすために」の「都市空間」という表現が気になります。西東京市の場合、「都市空間」よりも「まち」としたほうが市のイメージとのギャップがないように思います。

○事務局：

ご意見として賜りたいと思います。

○G委員：

(仮称) 加速化事業グループの考え方について、施策評価の結果を踏まえ重点化したものをグルーピングするというのではないのでしょうか。

○事務局：

「健康」応援都市の実現に向け、重点化すべき事業については、各施策に位置づける個別の計画事業の中で設定する想定です。

加速化事業グループについては、個別の施策単位を超えて、横断的に取り組むこと

で、「健康」応援都市の実現の加速化につながる計画事業を集めてグルーピングするという位置づけで考えております。

○和田会長：

今、事務局がご説明したような意図であれば、「(仮称)加速化事業グループ」という名称を趣旨に合うよう、見直した方が伝わりやすいのではないのでしょうか。

○B委員：

和田会長からご指摘いただいたように、名称は見直しが必要かと思えます。例えば、分野横断連携推進事業など、グループ設定の考え方を反映した名称がよいのではないのでしょうか。

○D委員：

各委員ご指摘のとおり、(仮称)加速化事業グループの名称は見直しがよいかと思えます。「健康」応援都市の実現に向けて、横断的に取り組むためという、グループ化の趣旨をわかりやすくしたほうがよいと思えます。

○事務局：

ご指摘を踏まえ、事務局で再度検討させていただくとともに、今後の議論の中で、引き続き委員の皆様からご意見をいただければと思えます。

○C委員：

「安2-1 災害に強いまちづくり」と「安2-3 危機管理体制の整備」を統合した趣旨を教えてください。

○事務局：

危機管理体制の整備については、平成19年度から取組を進めており、一定の成果が見られていることから、今後、災害に強いまちづくりと一体的に取り組むことで、成果を高めたいという意図です。

○F委員：

統合した後、危機管理体制の整備に係る成果指標は引き継がれるのでしょうか。危機管理体制の整備についても、さらなる目標を掲げて継続して取り組むということが見えづらくならないよう、配慮が必要かと思えます。

○和田会長：

危機管理体制の整備を災害に強いまちづくりと一体で取り組むという点はよいかと思うのですが、例えば情報セキュリティなど、災害以外の危機管理が漏れてしまうのではないのでしょうか。

○事務局：

ご指摘を踏まえ、「安2-1 災害に強いまちづくり」と「安2-3 危機管理体制の整備」の統合については、担当部門との調整を図りながら、精度を高めていきたいと思

ます。

○G委員：

（仮称）加速化事業グループについては、どの施策に関連づくかを示していただくと、全体の体系がわかりやすいのではないのでしょうか。

○和田会長：

ただいま各委員から色々なご意見や要望が出ておりましたので、本日のご意見を踏まえて、施策体系（案）の修正をお願いします。

### 議題3 第2次総合計画（後期基本計画）の各論について

事務局より資料2、3に沿って説明

○和田会長：

ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。

○F委員：

成果指標については、5年間の計画期間が終了した時点での目指す姿として、それぞれの目標値の設定をお願いします。

○G委員：

例として挙げられている保育施設の定員数など、具体的な数値で成果を測ることは大切だと思います。市民意識調査の市民満足度を活用する場合でも、子育て支援の施策であれば、対象を子育て世代に絞るなど、取組の対象者に合わせて市民満足度を測るといった工夫が必要ではないのでしょうか。

「健康」応援都市との関係性が強い施策については、健康に係わる指標を掲げ、具体的な数値目標を設定してもよいのではないのでしょうか。

また、子育て支援の取組に係る成果指標について、子どもの安全・安心に関するものがあってもよいのではないのでしょうか。

○B委員：

モニタリングは重要だと思います。目標設定の考え方としては、政治的に決定する、推計結果より早く特定の状態にもっていく、効果を測る数値の上昇（下降）をみるという、大きく3つがあるかと思います。

ここで挙げている「成果指標」は、取組により得られる成果というより、取組結果の評価を測るものとして考えられているように思うのですが、名称は「評価指標」のほうが適切ではないのでしょうか。

○事務局：

「成果指標」の名称についても、事務局にて再度検討いたします。

○E委員：

田無と保谷に庁舎機能が分かれていることは、まちの健康や災害対策の観点から問題ないのでしょうか。やはり、1つに統合していくということが必要ではないでしょうか。

か。

○事務局：

庁舎統合については、「みんなで作るまちづくり」の中で示したいと思います。

○J委員：

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた、観光まちづくり等の取組は盛り込まれるのでしょうか。

○事務局：

観光に係る内容は、「活力と魅力あるまちづくり」の中で示したいと思います。

○和田会長：

ただいま各委員から色々なご意見や要望が出ておりましたので、本日のご意見を踏まえ、次回の審議会で、見直しの方向性と今回の各論（創・環・安）の修正版の検討、また、新たに残りの3つの各論（み・笑・活）を検討したいと思います。

#### 議論4 その他

○和田会長：

その他の事項として、事務局から何かありますか。

○事務局：

次回の審議会は、4月16日（月）午前9時30分からを予定しています。  
正式には後日通知させていただきます。

○和田会長：

その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。

○各委員：

（意見なし）

○和田会長：

それでは、これをもちまして、第4回審議会を終わらせていただきます。皆様ありがとうございました。

（閉会）